

課題名：(総括研究課題名) HIV 検査受検勧奨に関する研究

(分担研究課題名) 現在の HIV 検査法の問題解決と CDC の新規検査手順に準じた
我が国の新規検査ガイドラインの作成

公表年月日：平成 30 年 11 月

公表の方法：論文による発表 (雑誌名： Plos One)

公表の題名：Comparative evaluation of the Geenius™ HIV 1/2 Confirmatory Assay and the
HIV-I and HIV-2 Western blots in the Japanese population

公表内容の概要(400 字以内)

HIV の抗体確認検査としてこれまで長期にわたりウエスタンブロット法 (WB) が使用されてきたが、WB はスクリーニング検査に比べ感度が悪い、HIV-I 抗体と HIV-2 抗体の交差反応性等の問題があり、信頼性の高い確認法や HIV-1/2 の鑑別法の開発が必要とされていた。最近の改良法として Geenius が開発され、アメリカ CDC のガイドラインにおいては既に Geenius の使用が承認された。我々は日本の HIV 検査システムに Geenius を導入することを目的として、抗体確認検査及び HIV-1/2 鑑別能力について評価した。その結果 Geenius は WB より早い時期から陽性を確認でき、HIV-1/2 の鑑別能力も優れており、HIV の早期診断に有効な検査法であることが明らかとなった。